

# 映像から始める読書

映画やドラマ、アニメなどを観て、

「このドラマは原作があるんだ。」

「この映画、書籍化したんだ。」

なんて思うことはありませんか？



本を読むのが苦手な人でも、映像を観てからだ  
読みやすかったり、内容がイメージしやすいかと思  
います。しかし、本を買おうとして本屋を探しても、  
人気のある本や以前出版された本は手に入らない  
場合もあります。そんな時、図書館を利用して  
みるてはどうでしょうか。

図書館にはたくさんの小説があります。もしかし  
たら、お目当ての小説があるかもしれません。

もし、原作小説や、書籍化した小説に興味があ  
ったら、一度、図書館で探してみるてはいか  
がでしょうか？



## 映像化・書籍化した本の紹介

映像のタイトル	書名
何者(映画)	何者 朝井 リョウ/著
怒り(映画)	怒り(上)(下) 吉田 修一/著
君の名は。(映画)	小説 君の名は。新海 誠/著
バッテリー(アニメ)	バッテリー あさの あつこ/著
舟を編む(アニメ)	舟を編む 三浦 しをん/著
地味にスゴイ! 校閲ガール・ 河野悦子(ドラマ)	校閲ガール 宮木 あや子/著

# Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト



No.27 2016.11

清瀬市立図書館

マンガでわかる  
ビブリオバトルに挑戦!

粕谷 亮美 / 著  
さえら書房



“人を通して本を知る・本を通して人を知る” 3人以上で本を紹介し合うビブリオバトルは、本だけではなく本を紹介した人のことも知ることができる楽しいゲームです。ルールは順番に4つあります。

- ①発表する本は必ず自分がおすすめた本であること。
- ②発表時間は5分。
- ③発表後にディスカッションタイム(質問時間)が2~3分。
- ④最後に投票で一番読みたいと思うチャンプ本を決めること。

「発表なんて緊張しそう…」 「本を読むのは苦手。」 と思っている人も、この本を読めば、ビブリオバトルをやってみたくなくなるはずです。

< 駅前図書館 渡辺 >

広島県出身の女優 綾瀬はるかさんが、被爆者のもとを訪ねて、話を聞くドキュメンタリー「綾瀬はるか『戦争』を聞く」シリーズ第2弾です。

今回は、原爆の中心で被爆しながらも奇跡的に生きていた人や、原爆症の父を支え続けた娘さんなど、被爆者の方々の様々な話を聞くことができます。

戦争とは何だったのか、平和の意味とは何なのか、色々と考えさせられます。日本人として忘れてはならないこと、そして、知っておかなければいけないことが記された本です。

< 中央図書館 根岸 >

綾瀬はるか「戦争」を聞く II

TBSテレビ「NEWS23」取材班 / 編  
岩波書店



「仏教なんて、全然知らない。」 「自分とは関係ない。」 と思っ

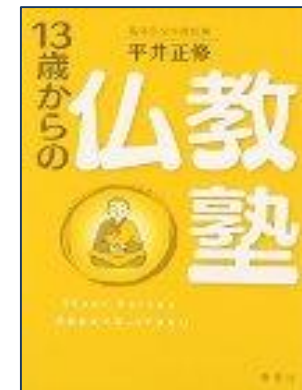
ても、座禅を組むのも、親孝行をするのも、食事の前にいただきますと言うのも、そして大晦日に除夜の鐘をつくのも、全て仏教に係わっています。

そんな私たちの暮らしや文化に大きく係っている仏教には、「なぜ自分は生まれてきたのか、生きることの意味や目的はあるのだろうか?」と人生に悩んだ時、それを解決してくれるヒントがたくさんあります。禅宗のお寺の住職さんがやさしく、そして、わかりやすく教えてくれます。

< 竹丘図書館 吉高 >

13歳からの仏教塾

平井 正修 / 著  
海竜社



しごと場見学!  
書店・図書館で働く人たち

戸田 恭子 / 著  
ペリかん社



「書店や図書館ってどんな場所?」「どんな人が働いているの?」本に関わる仕事のことを知りたい人におすすめの本です。

中学生4人が、書店と図書館を見学しながら、そこで働いている人たちにインタビューをして、どんな仕事をしているのかを細かく紹介しています。

皆さんが仕事の内容はもちろんのこと、なぜこの仕事を選んだのか、やりがいや、喜びまでも語っていますので、職場見学のバーチャル体験ができます。

インタビューを通して、働く人たちの仕事への熱い思いが、きっと伝わってくると思います。

< 野塩図書館 堀田 >